（別紙4（2））

事業所名　グループホーム「シュアー」
作成日：令和　2年　5月　7日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	Ⅰ、2	地域の方々と交流する機会が少ないことや利用者様が地域に出向く機会が少ないこと、介護度が年々重くなっていく利用者様との外出機会が減少傾向であること、スタッフ不足が深刻化していること。	事業所と地域の付き合いを大切にし、事業所が地域の一員として、もっと身近な存在になれるように関係を深めていきたい。	施設の年間予定表に、月ごとに地域行事への参加の機会を増やし、ボランティアさんなどの手を借りて、認知症カフェ的な、地域の皆様に気軽に足を運んでいただける催し物を開く計画を立てました。	6ヶ月
2	Ⅲ、26	介護計画やモニタリング、ケアプランなどホワイトボードを使用して、意見を出し合っていますが、出た意見が記録として残らないこと、また、ケアプラン用紙の書式が分かりにくいこと。	業務の効率化を図りながら、身体介護とケアマネジメントを行う。	ケアプラン用紙を簡潔化し、スタッフの仕事の効率化に努めました。PDCAの流れを意識した記録の残し方とケアプラン書式を作成しました。	0ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。